

「カラカラで 蛇口に飛び込む 僕の口」



毎年6月1日から7日は「水道週間」です。
水道週間は、水道についての理解と関心を高めることを目的に昭和34年から実施され、今年で57回目になります。
今回は市上水道の状況と、家庭で使われる主な水の量と節水の方法について紹介します。



結城市の水道について

市の水道水は、深井戸を水源とする地下水を本町浄水場・林浄水場で浄水したものと霞ヶ浦を水源とする県西広域水道用水事業からの受水により供給しています。水道水の使用量は季節や天候、一日の時間帯によっても大きく変化しますが、平成26年度では1日平均15,525㎡の水を配水しています。これは1日一人当たり約294リットルの水を使用していることになります。表を見ていただくと、年々使用量が増加傾向にあることがわかります。

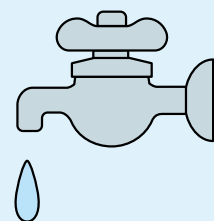
市が配水する7割が深井戸から汲みあげた地下水を浄水したものになりますが、近年の夏は猛暑になることが多く、水道の使用量が増えることや雨が降らないことで地下水の水位が下がり、取水できなくなる恐れもあります。安定した配水に努めていますが、限りある資源を大切にするためにも節水にご協力ください。

水道データ

(単位：㎡)

	23年度	24年度	25年度	26年度
当年度総配水量	5,448,400	5,488,588	5,559,729	5,666,784
1日平均配水量	14,886	15,037	15,232	15,525
1日最大配水量	17,596	16,488	16,889	17,138
1日一人の平均使用量	0.278	0.283	0.288	0.294

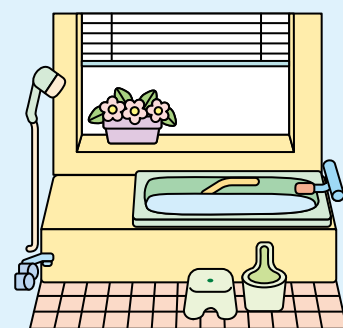
家庭で使用する水の量・料金と家庭でできる節水



お風呂

お風呂一杯に使用する水の量は、浴槽の大きさにもよりますが約200～250リットルです。
1リットル0.2円で計算すると約40～50円、毎日お風呂に入ると1,200～1,500円の料金がかかります。シャワーも使い方によりますが、1分間で12リットル使います。15分出すだけで浴槽1杯分の水が出るので36円かかることになります。

暑くなってくるとシャワーだけで済ましてくなり、浴槽の水が無駄になりがちです。残り湯は洗濯などで利用するほか、暑い時期は半身浴を心がけると沸かす湯量も減らすことができます。また、シャワーもこまめに止めることで水量を抑えられるほか、シャワーヘッドを交換することで水圧を落とさず水量を減らすものもあります。



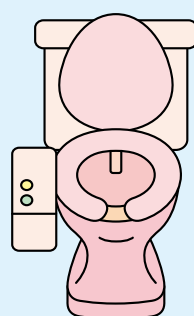
市水道課 ☎34-1611

トイレ

水洗トイレの1回の洗浄に使う水の量は、約10～15リットルです。一人が1日にトイレで5回水を流すと約50～75リットルもの水になり、約10～15円(1リットル0.2円計算)、月に300～450円になります。世帯の人数が4人であれば1,200～1,800円にもなります。

最新の水洗トイレは約5リットルで洗浄でき、交換のコストはかかりますが、長い目で見ると大変お得です。また、お風呂の残り湯を再利用したり、レバーで水量が調整できる場合は大小をきちんと使い分けましょう。

タンクにペットボトルなどを沈めて節水する方法がよく知られていますが、水量や水圧が弱まって流れなくなることや、排水管で詰まることで流した水が逆流する可能性がありますのでおすすめできません。



洗濯

洗濯機や洗濯物の量、洗濯回数も家庭によってさまざまですが、「洗い」と「すすぎ」を1回として約50～120リットル、約10～24円です。すすぎも注水すすぎにすると使用量が大幅に増加します。

すでに実践されている方が多いと思いますが、お風呂の残り湯を利用しましょう。残り湯を使うと水道代の節約になるのはもちろんのこと、水道水よりも温度が高いため洗剤の溶けもよく、汚れ落ちも違ってきます。洗濯にかかる時間が短縮できるので、電気代の節約にもつながります。

残り湯をすすぎで使うと、菌や汚れが洗濯物に残ってしまいますので、すすぎが1回の場合、残り湯は洗いにし、2回の場合は2回目を水道水にするようにしましょう。また、すすぎでは注水すすぎではなく、ためすすぎを使うことで水量を抑えられます。